



平成30年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年7月31日

上場会社名 株式会社 システムソフト 上場取引所 東  
 コード番号 7527 URL <https://www.systemsoft.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉尾 春樹  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 富田 保徳 (TEL) 092-732-1515  
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月1日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年9月期第3四半期の連結業績(平成29年10月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期第3四半期	1,776	—	△97	—	△138	—	△169	—
29年9月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 30年9月期第3四半期 △171百万円 ( —%) 29年9月期第3四半期 —百万円 ( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
30年9月期第3四半期	円 銭 △2.50	円 銭 —
29年9月期第3四半期	—	—

(注) 第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成29年9月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
30年9月期第3四半期	百万円 7,470	百万円 6,710	% 89.5
29年9月期	—	—	—

(参考) 自己資本 30年9月期第3四半期 6,685百万円 29年9月期 —百万円

(注) 第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成29年9月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
29年9月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 2.00	円 銭 2.00
30年9月期	—	0.00	—		
30年9月期(予想)				2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年9月期の連結業績予想(平成29年10月1日～平成30年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,000	—	150	—	110	—	70	—	1.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

30年9月期3Q	67,974,560株	29年9月期	67,974,560株
30年9月期3Q	31,719株	29年9月期	31,719株
30年9月期3Q	67,942,841株	29年9月期3Q	67,920,938株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
3. その他 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

なお、第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期連結累計期間及び前連結会計年度末との比較については記載しておりません。

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成29年10月1日～平成30年6月30日）におけるわが国の経済は、海外経済の回復や企業の生産活動の堅調さを背景とし、景気は緩やかな回復基調が続いたものの、米国の通商政策による貿易摩擦、各国の地政学リスク等を受け、先行きの不透明感が残る状況で推移いたしました。

当社が属する情報サービス産業におきましては、政府が推奨する第4次産業革命の推進に伴い、IoT、ビッグデータ、人工知能等による新たな可能性に引き続き期待が集まっております。

このような環境下、当社は、システム開発分野において、当社が得意とする技術要素・ノウハウを活かした案件の受注を進め、賃貸不動産業界をはじめとするシステム開発案件を受注してまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,776百万円、営業損失は97百万円となりました。また、株主優待関連費用24百万円等の営業外費用を計上したことにより、経常損失は138百万円、東京本社の移転に伴う本社移転費用および固定資産除却損計18百万円等の特別損失を計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純損失は169百万円となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

#### ① システムソリューション事業

Web技術をベースとするシステム開発に強みを持ち、不動産分野、情報通信分野、生損保分野、教育分野等のお客様に対して長年にわたってシステム開発及びソリューションサービスを提供することに加え、賃貸不動産情報サイトの運営を行っております。

また、新規事業としてRPA（Robotic Process Automation）ソリューションを提供しております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、生損保分野および地図データ分野において案件の受注が順調に進み利益を確保できた一方で、不動産分野の複数案件について、コンサルティング・開発業務を休止することとなり、利益面が大幅に悪化いたしました。また、賃貸不動産情報サイト運営分野においては当初見込んだ売上を獲得できなかったこと、RPA分野においては先行投資により利益率が低い推移であったことから、システムソリューション事業全体の利益率が低下いたしました。

これらにより、システムソリューション事業の売上高は1,438百万円、セグメント損失は73百万円となりました。

#### ② マーケティング事業

日本におけるWebマーケティングサービス開始初期から培ってきた技術・ノウハウを活かし、大手企業を中心としたお客様に対して、Webマーケティングにおけるコンサルティングを中心に、そこから派生するシステム開発を含むソリューションサービスの提供を行っております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、マーケティングに対する手法の多様化や他社との競争を踏まえて、事業体制の再構築を進め高い利益率の案件を確保することに重点を置いて取り組んできた結果、一定の整理がつき、利益面が改善してまいりました。今後はさらなる事業拡大に努めてまいります。

これらにより、マーケティング事業の売上高は328百万円、セグメント利益は25百万円となりました。

#### ③ その他事業

子会社 株式会社S2iはIoTに関連する商品やサービスの提供事業を、株式会社アライアンステクノロジーは当社の事業分野に関連した投資事業を、それぞれ行っております。

S2iのIoT事業につきましては、さくらインターネット株式会社との合弁事業として進めておりますが、スマートロック「TiNK（ティンク）」（株式会社tsumug開発）を活用した各種サービス提供開始後の本格稼働となる

見込みであります。

これらにより、その他事業の売上高は10百万円、セグメント利益は3百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は3,414百万円となりました。主な内訳は、売掛金が1,411百万円、現金及び預金が1,242百万円、営業投資有価証券が452百万円であります。

固定資産は4,055百万円となりました。主な内訳は、有形固定資産が15百万円、無形固定資産が2,906百万円、投資その他の資産が1,133百万円であります。

この結果、資産合計は7,470百万円となりました。

流動負債は284百万円となりました。主な内訳は、買掛金が105百万円、未払消費税等が57百万円、1年内償還予定の社債が40百万円であります。

固定負債は475百万円となりました。主な内訳は、社債が320百万円、長期未払金が152百万円であります。

この結果、負債合計は759百万円となりました。

純資産合計は6,710百万円となりました。主な内訳は、資本金1,506百万円、資本剰余金4,262百万円、利益剰余金925百万円等であり、自己資本比率は89.5%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年9月期通期の業績予想につきましては、受注の休止および遅れ、開発体制確保の課題はあるものの、引き続き大型案件の受注を見込んでいることから、平成30年2月8日に公表いたしました通期業績予想から変更はありません。変更を行うことを確定した場合は、すみやかにお知らせいたします。

なお、業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は、様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)	
<b>資産の部</b>	
流動資産	
現金及び預金	1,242,692
受取手形及び売掛金	1,454,493
営業投資有価証券	452,569
仕掛品	68,671
その他	202,214
貸倒引当金	△5,670
流動資産合計	3,414,971
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物（純額）	4,345
その他（純額）	11,040
有形固定資産合計	15,386
無形固定資産	
のれん	2,513,498
その他	392,717
無形固定資産合計	2,906,215
投資その他の資産	
その他	1,134,825
貸倒引当金	△1,013
投資その他の資産合計	1,133,812
固定資産合計	4,055,414
資産合計	7,470,385
<b>負債の部</b>	
流動負債	
支払手形及び買掛金	105,243
未払法人税等	232
その他	179,159
流動負債合計	284,635
固定負債	
社債	320,000
資産除去債務	2,348
その他	152,857
固定負債合計	475,206
負債合計	759,841

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間  
(平成30年6月30日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	1,506,090
資本剰余金	4,262,292
利益剰余金	925,702
自己株式	△8,046
株主資本合計	6,686,038
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	△482
為替換算調整勘定	△144
その他の包括利益累計額合計	△627
新株予約権	16,471
非支配株主持分	8,662
純資産合計	6,710,544
負債純資産合計	7,470,385

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年6月30日)
売上高	1,776,391
売上原価	1,499,223
売上総利益	277,168
販売費及び一般管理費	375,128
営業損失(△)	△97,960
営業外収益	
受取利息	294
受取配当金	442
投資有価証券売却益	4,931
その他	258
営業外収益合計	5,926
営業外費用	
支払利息	759
支払手数料	13,156
為替差損	5,609
株主優待関連費用	24,631
その他	2,593
営業外費用合計	46,751
経常損失(△)	△138,785
特別損失	
固定資産除却損	8,730
関係会社株式評価損	10,000
本社移転費用	9,568
特別損失合計	28,299
税金等調整前四半期純損失(△)	△167,084
法人税、住民税及び事業税	2,819
法人税等調整額	—
法人税等合計	2,819
四半期純損失(△)	△169,903
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△213
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△169,690

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年6月30日)
四半期純損失(△)	△169,903
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△1,968
為替換算調整勘定	498
その他の包括利益合計	△1,469
四半期包括利益	△171,373
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△171,160
非支配株主に係る四半期包括利益	△213

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 当第3四半期連結累計期間(自 平成29年10月1日 至 平成30年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計
	システムソリューション事業	マーケティング事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,437,566	328,623	1,766,189	10,202	1,776,391
セグメント間の内部売上高又は振替高	952	-	952	-	952
計	1,438,518	328,623	1,767,141	10,202	1,777,343
セグメント利益又は損失(△)	△73,933	25,061	△48,872	3,603	△45,269

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、投資事業を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	△48,872
「その他」の区分の利益	3,603
全社費用(注)	△52,691
四半期連結損益計算書の営業損失	△97,960

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

### 3. その他

該当事項はありません。